

「市民防災の日」金沢かわら版

発行者 「市民防災の日」金沢区推進委員会

訓練の違いをみましょう！

「消防訓練」と「防災訓練」はここが違います

項目	消防訓練	防災訓練
主な目的	火災対応	災害対応
想定	建物火災	地震・津波等
根拠	消防計画	地域の防災計画等
内容	消火・避難・通報	消火・避難・通報等
実施単位	事業所、集合住宅等	自治会・町内会等

消防訓練と防災訓練の違い

目的の違う訓練

消防訓練と防災訓練は、それぞれ目的の異なる訓練です。訓練を行い、いざという時に適切な行動が取れるよう、日ごろからの準備をお願いします。

消防訓練は、建物ごとに定められた消防計画に基づき、火災を想定して行います。消火器の使い方や消防への通報、避難の手順を確認し、火災時に落ち着いて初期対応するための訓練です。

防災訓練とは

防災訓練は、地震や津波、それらに伴う火災などの災害に備えて行います。避難場所や避難経路の確認のほか、津波警報が出た際の避難行動や、地震による火災が発生した場合の初期消火の仕方、などが主な内容です。自治会町内会など地域単位で実施し、年1回以上の実施が目安です。

災害時に助け合える地域づくりにつながります。



あんしん救急をご存じですか？

命を守る三つの行動 備える・相談・通報

「備える」

高齢者に多い転倒事故を防ぐ救急要請の約6割は高齢者に占められています。内容をみると、急病に次いで多いのがケガで、なかでも自宅や身近な場所での転倒が目立ちます。

日ごろから転びにくい環境づくりや、体調の変化に気づくことが大切です。

項目	原因
病気・体の状態	・筋力低下、関節の痛み ・めまい、立ちくらみ ・視力の低下
薬の影響	・血圧低下によるめまい ・薬による眠気
環境	・室内の敷居などの段差 ・滑りやすい床・靴下 ・電気コード・布団

転倒の原因一覧

「相談」

迷ったら救急相談
体調不良やケガで救急車を呼ぶか迷ったときの電話相談です。看護師などの専門家が話を聞き、助言をします。

夜間・休日も利用できます。

「通報」

命に関する症状はすぐ119番
「救急車を呼んでいいのか」と迷う必要はありません。早い通報が命を守ります。

左の表にあるような症状や事故が起きたときは、様子を見ずに通報してください。

症状
意識障害
けいれん
大量出血
広範囲のやけど
物をのどに詰まらせた
大きな交通事故
高所からの転落

命に関わる症状一覧

救急相談は #7119
24時間・年中無休

住宅用火災警報器の寿命は、約10年です。設置から10年経った警報器は新しいものに交換しましょう。